

# 届出

[平成19年度設置]

計画の区分：学部<sup>1</sup>の学科設置

注1

国際医療福祉大学 福岡リハビリテーション学部  
言語聴覚学科

注2

## 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 国際医療福祉大学  
平成21年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局(課)名 事務部 教務係

職名・氏名 <sup>ナガノ</sup>長野 <sup>ヒロキ</sup>弘毅

電話番号 0944-89-2000

(夜間)

F A X 0944-89-2001

e-mail high-nagano@iuhw.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科(通信教育課程)」

# 大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

※

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

学校法人 国際医療福祉大学

### (2) 大学名

国際医療福祉大学

### (3) 大学の位置

〒831-8501

福岡県大川市榎津137-1

〔〒324-8501  
栃木県大田原市北金丸2600-1 〕

### (4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学長	(タニ シュウイチ) 谷 修一 (平成13年10月)		
学部長	(オオタ ヨシロウ) 太田 善郎 (平成17年4月)	(ミツドメ アキヒサ) 満留 昭久 (平成19年4月)	前任者高齢による交代 平成19年4月1日 (21)
学科長等	(フカウラ ジュンイチ) 深浦 順一 (平成19年4月)		

(注) 『(3) 大学の位置』は、申請学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成21年度に報告する内容 → (21)

※ 「留意事項報告書」の場合は、タイトルを修正してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成18年度開設の場合(平成21年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
福岡リハビリテーション学部 言語聴覚学科 学士(言語聴覚学)	4年	40人	0年次人	160人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度 平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	( )人	( - ) 40人	( - ) 40人	( - ) 40人	1.02倍	
志願者数	( )	( - ) 131	( - ) 101	( - ) 104		
受験者数	( )	( - ) 129	( - ) 101	( - ) 103		
合格者数	( )	( - ) 109	( - ) 69	( - ) 94		
B 入学者数	( )	( - ) 41	( - ) 41	( - ) 41		
入学定員超過率 B/A	( )	( - ) 1.02	( - ) 1.02	( - ) 1.02		

- (注) 1 ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度 平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[ ]	[ 0 ] 41	[ 0 ] 40	[ 0 ] 41	
2年次			[ 0 ] 40	[ 0 ] 44	
3年次				[ 0 ] 36	
4年次					
計	[ ]	[ 0 ] 41	[ 0 ] 80	[ 0 ] 121	

- (注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成18年度	計 [ ]	計 [ ]	[ ] %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成19年度	計 [ 0 ]	計 [ 0 ]	[ 0% ]
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 41人	0%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [ 0 ]	計 [ 0 ]	[ 0% ]
	うち平成19年度入学者 1人	うち平成19年度 41人	2.4%
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 41人	
	(主な退学理由)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生個人の心身に関する事情 (1)</li> <li>・除籍 (1)</li> </ul>			
平成21年度	計 [ 0 ]	計 [ 0 ]	[ 0% ]
	うち平成19年度入学者 0人	平成19年度 41人	0%
	うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 41人	
	うち平成21年度入学者 0人	平成21年度 41人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
- ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(例)今年度完成年度を迎える大学

一般的には、平成21年度欄については、入学後1か月程度しか経過していないため、退学者数は「0」や少数であることが想定されます。また、平成18、19年度は原則として昨年度の報告書と同様の記載となります。



## 2 授業科目の概要

<福岡リハビリテーション学部 言語聴覚学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文科学系	文学	1		2								履修希望者なしの為未開講 (21)  通常開講 (21) 20年度担当教員不在の為未開講 (21)  担当教員不在の為未開講 (21)
	心理学	1		2		1						
	哲学	1		2								
	コミュニケーション概論	未開講 -1		2								
	人間学	1 未開講 -1		2								
	倫理学	1		2								
	文化人類学	-1		2								
	教育学	1		2								
	死生学概論	1		2								
	社会科学系	法学	1		2							
社会学		1		2								
国際関係論		1		2								
国際医療福祉論		1		2								
ボランティア論		1		2								
医療関連法規		1		2								
経済学		1		2								
社会保障政策論		1		2								
自然・情報科学系	保健医療統計学	1	2									
	情報処理	1	2									
	情報処理演習	1		1								
	物理学	1		2								
	化学	1		2								
	生物学	1		2								
	生命倫理	1	2									
	医学/医療史	1		2								
人間工学	1		2									
外国語系	英語 I-1	1	1									
	英語 I-2	1	1									
	英語 I-3	2		2								
	英語 II (医学英語)	2	2									
	中国語	2		2								
	韓国語	2		2								
健康科学系	健康科学理論	1	2									
	健康科学実践	1	1									

専門基礎科目・学部共通	リハビリテーション概論	1	1			<u>1</u>	1				橋本紀子の就任辞退により、科目分担を再検討した。 旧担当：深浦順一（教授） 新担当：為教哲司（准教授）（21）	
	関連職種連携論	1		1								
	保健医療福祉制度論	1	2									
	救急医学	2		1								
	ケアマネジメント論	2		1								
	公衆衛生学	1		1								
	ケースワーク論	1		1								
	薬理学	2		1								
	栄養学	2		1								
	カウンセリング論	2		1								
	外科学	2		1								
スポーツ医科学	2		1									
	2											
臨床心理学概論	<u>1</u>		1								学習進度を考慮して2年次開講とした（21）	
専門基礎科目	解剖学	1	2									
	生理学	1	2									
	病理学	1	1									
	医学概論	1	1									
	内科学	3	2									
	精神医学	3	2									
	リハビリテーション医学	2	1									
	小児科学	3	1									
	耳鼻咽喉科学	3	1			1						
	臨床神経学	2	1									
	形成外科学	3	1			1						
	臨床歯科医学	2	1			1						
	口腔外科学	3	1			1						
	音声言語医学	2	1			1						
	中枢神経機能学	2	1									
	聴覚医学	2	1			1						
	児童精神医学	1		1								
		2										
	老年学	<u>1</u>		1								学習進度を考慮して2年次開講とした（21）
		2										
	脳神経外科学	<u>1</u>		1								学習進度を考慮して2年次開講とした（21）
		2										
	画像診断学	<u>1</u>		1								学習進度を考慮して2年次開講とした（21）
臨床心理学Ⅰ（基礎）	2	1			<u>1</u>						橋本紀子の就任辞退により、科目分担を再検討した。 旧担当：南出好史（教授） 新担当：吉住直行（兼任講師）（21）	
臨床心理学Ⅱ（応用）	2	1			<u>1</u>							
専門基礎科目	生涯発達心理学Ⅰ（基礎）	1	1				<u>1</u>				橋本紀子の就任辞退により、科目分担を再検討した。 旧担当：橋本紀子（准教授） 新担当：吉住直行（兼任講師）（21）	
	生涯発達心理学Ⅱ（応用）	1	1				<u>1</u>					
	学習心理学	2	1			1	<u>1</u>				橋本紀子の就任辞退により、科目分担を再検討した。 旧担当：橋本紀子（准教授） 新担当：南出好史（教授）（21）	
神経心理学	1	1										

認知心理学	2	1			1					橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：吉住直行（兼任講師） 新担当：南出好史（教授）（21）
心理測定法	2	1								
心理測定法演習	2		1							
実験計画法	3	1			1					橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：吉住直行（兼任講師） 新担当：南出好史（教授）（21）
言語学	1	1					<u>1</u>			より専門性の高い外部教員に依頼した。 旧担当：安立多恵子（准教授） 新担当：高井岩男（兼任講師） （21）
言語心理学	2	1			1					
言語発達学	2	1			<u>1</u>	1				橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：徳田和恵（准教授） 新担当：南出好史（教授）（21）
音声学Ⅰ（基礎）	1	1								
音声学Ⅱ（応用）	2	1								
音声情報処理学	2	1								
聴覚心理学	3	1			1					

専門科目

言語聴覚障害学概論Ⅰ(基礎)	1	2			1					
言語聴覚障害学概論Ⅱ(応用)	1	2				1				
言語聴覚障害診断学	2	1			1	1				
成人言語障害学総論Ⅰ(基礎)	2	1				1				
成人言語障害学総論Ⅱ(応用)	2	1				1				
高次脳機能障害学	3	1				1			1	分担見直しによる専任教員の追加： 田宮愛(助教)(21)
失語症学	3	1				1			1	
失語症学特論	3	1				1			1	
失語症学特論演習	3	1				1			1	
言語発達障害学総論Ⅰ(基礎)	2	1				1				
言語発達障害学総論Ⅱ(応用)	2	1				1				
言語発達障害学	3	1				1				
言語発達障害学演習	3	1				1				
言語発達障害学特論	3	1				<u>1</u>				橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：橋本紀子(准教授) 新担当：徳田和恵(准教授)(21)
言語発達障害学特論演習	3	1				<u>2</u> <u>1</u>				橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：橋本紀子(准教授) 新担当：徳田和恵(准教授) 新担当：安立多恵子(准教授) (21)
聴覚障害学総論	2	1			1					
聴覚機能評価学	2	2			1					
補聴器・人工内耳	3	1			1					
小児聴覚障害学Ⅰ(基礎)	3	1			1	<u>1</u>				橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：徳田和恵(准教授) 新担当：深浦順一(教授)(21)
小児聴覚障害学Ⅱ(応用)	3	1			2	<u>1</u>				橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：徳田和恵(准教授) 新担当：深浦順一(教授) 新担当：南出好史(教授)(21)
成人聴覚障害学	3	1			1					
視覚聴覚重複障害	3	1				1				
発声発語障害学総論	2	1				1				
機能性構音障害学	2	1				1				
吃音学	2	1				1				
器質性構音障害学	3	1				1				
構音障害学演習	3	1				<u>1</u> <u>1</u>				橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：為数哲司(准教授) 新担当：安立多恵子(准教授) (21)
音声障害学	3	1			1	<u>1</u>				橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：為数哲司(准教授) 新担当：深浦順一(教授)(21)
摂食・嚥下障害学Ⅰ(基礎)	3	1				1				
摂食・嚥下障害学Ⅱ(応用)	3	1				1				
運動性構音障害学	3	1				1				



言語聴覚障害研究法概論	3		2		1	1				橋本紀子の就任辞退により、 科目分担を再検討した。 旧担当：深浦順一（教授） 新担当：徳田和恵（准教授） (21)
言語聴覚障害研究法実践	3		2		<del>1</del>	1				
言語聴覚障害総合演習	2	1			1					橋本紀子の就任辞退により、 担当教員を減員した。 (21)
言語聴覚療法特論Ⅰ（基礎）	4	1			1	3				
言語聴覚療法特論Ⅱ（応用）	4	1			1	<del>3</del>				
卒業研究	3~4		3		1	<del>3</del>				
臨床実習Ⅰ（基礎）	3	2			1	4		1		
臨床実習Ⅱ（応用）	4	10			1	<del>3</del>		1		

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 78	科目 45	科目 0	科目 123	科目 78 [ 0]	科目 45 [ 0]	科目 0 [ 0]	科目 123 [ 0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	人間学	2	1	一般	選択	20年度担当教員の確保ができなかった為、未開講となった。今年度開講し、2年生の選択が可能な時間割としている。
2	文化人類学	2	1	一般	選択	21年度教員退職による担当者不在、今年度の代替措置なし。来年度開講し、2年生の選択が可能な時間割を組む予定。
3	コミュニケーション概論	2	1	一般	選択	今年度履修希望者なし

(4) 廃止科目

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：人間学および文化人類学について、担当教員の確保が叶わなかったことは残念であるが、1年次に受講できなかった学生は2年次には受講できる時間割を組んで対応している。  
 卒業に必要な単位としては、人文科学分野からは9科目中3科目を取得すればよく、これらの科目の未開講について、学生に著しい不利益があったとは考えにくい。  
 コミュニケーション概論に関しては、21年度の時間割が学生にとって履修が厳しいものとなってしまったために、受講希望者がなく、結果的に開講しないこととなった。卒業に必要な単位ということでは学生に不利益をもたらすとは考えていないが、来年度は2年生の受講も可能な時間割を組む予定である。

学生への周知方法：掲示板により告示

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	2.43%
認可時の計画の授業科目数の計		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。  
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
- 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に差し引き数を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

(大川キャンパス)

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	20,423.18㎡	㎡	㎡	20,423.18㎡				
	運動場用地	5,606.00㎡	0㎡	0㎡	5,606.00㎡				
	小 計	26,029.18㎡	㎡	㎡	26,029.18㎡				
	そ の 他	11,864.00㎡	㎡	㎡	11,864.00㎡				
	合 計	37,893.18㎡	0㎡	0㎡	37,893.18㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		17,247.81㎡ ( 17,247.81㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	17,247.81㎡ ( 17,247.81㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	16室	2室	33室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	福岡リハビリテーション学部 言語聴覚学科			10 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
		福岡リハビリ テーション学部 言語聴覚学科	1,500 [300] ( 1,500 [300] )	30 [ 20 ] ( 30 [ 20 ] )	2,400 [2,300] (2,400 [2,300] )	50 ( 50 )	1500 ( 1,500 )	14 ( 14 )	
	計	1,500 [300] ( 1,500 [300] )	30 [ 20 ] ( 30 [ 20 ] )	2,400 [2,300] (2,400 [2,300] )	50 ( 50 )	1500 ( 1,500 )	14 ( 14 )		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,546.33㎡		170		47,400				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,852.05㎡		武道場 611,94㎡						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	500千円	600千円	図書購入費	15,000千円	2,000千円	2,000千円	
	共 同 研 究 費 等	13,000千円	15,000千円	設備購入費	70,000千円	3,000千円	3,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,700千円 1,800千円	1,400千円 1,300千円	1,400千円 1,300千円	1,400千円 1,300千円	千円	千円	(21)	
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入等						

- (注) 1 認可時の計画を設置認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。  
 2 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。  
 3 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。  
 4 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。  
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。  
 5 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「別紙様式2」により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
保健医療学部 看護学科	4	100		400	学士（看護学）	1.28	平成7年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
理学療法学科	4	80		320	学士（理学療法学）	1.27	平成7年度		
作業療法学科	4	80		320	学士（作業療法学）	1.25	平成7年度		
言語聴覚学科	4	80		320	学士（言語聴覚学）	1.20	平成7年度		
視機能療法学科	4	40		160	学士（視機能療法学）	1.25	平成14年度		
放射線・情報学科	4	100		400	学士（放射線・情報科学）	1.25	平成7年度		
医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科	4	160	5	650	学士（医療福祉学） 学士（医療マネジメント学）	1.04	平成21年度		
医療経営管理学科	4	100		400	学士（医療経営管理学）	-	平成9年度		平成21年度から学生募集停止
医療福祉学科	4	140	5	570	学士（医療福祉学）	-	平成9年度		平成21年度から学生募集停止
薬学部 薬学科（6年制）	6	180		1080	学士（薬学）	0.91	平成18年度		
福岡リハビリテーション学部 理学療法学科	4	80		320	学士（理学療法学）	1.24	平成17年度	福岡県大川市榎津字中曾利137番1	
作業療法学科	4	40		160	学士（作業療法学）	1.18	平成17年度		
言語聴覚学科	4	40		160	学士（言語聴覚学）	1.02	平成19年度		
福岡看護学部 看護学科	4	80		320	学士（看護学）	1.27	平成21年度	福岡県福岡市長浜1丁目3番1号	

大学の名称	国際医療福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
小田原保健医療学部									
看護学科	4	50		200	学士（看護学）	1.16	平成18年度	神奈川県小田原市城山一丁目2番25号	
理学療法学科	4	40		160	学士（理学療法学）	1.27	平成18年度		
作業療法学科	4	40		160	学士（作業療法学）	1.27	平成18年度		
医療福祉学研究科 保健医療学専攻 （修士課程）	2	100		200	修士（保健医療学） 修士（看護学） 修士（助産学）	1.52	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
医療福祉経営専攻 （修士課程）	2	50		100	修士（医療福祉経営） 修士（医療福祉） 修士（診療情報管理学）	1.33	平成13年度		
臨床心理学専攻 （修士課程）	2	25		50	修士（臨床心理学）	1.31	平成19年度		東京都港区南青山一丁目3番3号
保健医療学専攻 （博士課程）	3	50		150	博士（保健医療学） 博士（看護学） 博士（助産学） 博士（医療福祉経営学） 博士（医療福祉学）	1.72	平成13年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
薬科学研究科 医療・生命薬科学専攻（修士課程）	2	15		30	修士（薬科学）	1.06	平成21年度		

大学の名称	国際医療福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	

- (注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。  
(大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- 2 認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。
- 3 「定員超過率」欄には、各修業年限に相当する期間(学年進行中の場合は、設置後経過した年数分)における入学定員超過率の平均を記入してください。  
入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
なお、学生募集停止中の学部等については、「-」を記入するとともに、「備考」欄に「平成〇年度から学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<福岡リハビリテーション学部 言語聴覚学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	深浦順一	平成19年4月	リハビリテーション概論	専	教授	深浦順一	平成19年4月	言語聴覚障害学概論Ⅰ	
				言語聴覚障害学概論Ⅱ					言語聴覚障害学診断学	
				聴覚障害学総論					聴覚機能評価学	
				補聴器・人工内耳				成人聴覚障害学		
				言語聴覚障害学研究法概論					言語聴覚障害学総合演習	
				言語聴覚障害学研究法実践					言語聴覚療法特論Ⅰ	
				言語聴覚障害学総合演習					言語聴覚療法特論Ⅱ	
				言語聴覚療法特論Ⅰ					卒業研究	
				言語聴覚療法特論Ⅱ					臨床実習Ⅰ	
				卒業研究	専	准教授	為数哲司	平成19年4月	臨床実習Ⅱ	リハビリテーション概論
				臨床実習Ⅰ						
				臨床実習Ⅱ	専	准教授	徳田和恵	平成20年4月		言語聴覚障害学研究法概論
									言語聴覚障害学研究法実践	
専	教授	亀山忠光	平成19年4月	形成外科学						
				臨床歯科医学						
				口腔外科学						
専	教授	加藤寿彦	平成20年4月	耳鼻咽喉科学						
				音声言語医学						
				聴覚医学						
専	教授	南出好史	平成19年4月	心理学	専	教授	南出好史	平成19年4月	心理学	
				臨床心理学Ⅰ					言語心理学	
				臨床心理学Ⅱ					聴覚心理学	
				言語心理学	専	准教授	徳田和恵	平成20年4月	言語発達学	
				言語発達学					臨床心理学Ⅰ	
				聴覚心理学	兼任	講師	吉住直行	平成19年4月	臨床心理学Ⅱ	
専	准教授	徳田和恵	平成20年4月	言語発達障害学	専	准教授	徳田和恵	平成20年4月	言語発達障害学	
				言語発達障害学演習					言語発達障害学演習	
				小児聴覚障害学Ⅰ					視覚聴覚重複障害	
				小児聴覚障害学Ⅱ					言語聴覚療法特論Ⅰ	
				視覚聴覚重複障害					言語聴覚療法特論Ⅱ	
				言語聴覚療法特論Ⅰ					卒業研究	
言語聴覚療法特論Ⅱ	臨床実習Ⅰ									
				卒業研究				臨床実習Ⅱ		
				臨床実習Ⅰ	専	教授	深浦順一	平成19年4月	小児聴覚障害学Ⅰ	
				臨床実習Ⅱ				小児聴覚障害学Ⅱ		
					専	教授	南出好史	平成19年4月	小児聴覚障害学Ⅱ	



専	准教授	安立多恵子	平成19年4月	言語学	専	准教授	安立多恵子	平成19年4月	言語聴覚障害学概論Ⅱ	専	准教授	安立多恵子	平成19年4月	言語聴覚障害学概論Ⅱ	
				言語聴覚障害学診断学					言語聴覚障害学診断学					言語発達障害学総論Ⅰ	言語発達障害学総論Ⅱ
専	准教授	橋本紀子	平成19年4月	言語発達障害学特論	専	准教授	徳田和恵	平成20年4月	言語発達障害学特論	専	准教授	安立多恵子	平成19年4月	言語発達障害学特論	
				言語発達障害学特論演習					言語発達障害学特論演習					言語発達障害学特論演習	生涯発達心理学Ⅰ
専	准教授	為数哲司	平成19年4月	成人言語障害学総論Ⅰ	専	准教授	為数哲司	平成19年4月	成人言語障害学総論Ⅰ	専	准教授	安立多恵子	平成19年4月	成人言語障害学総論Ⅱ	
				成人言語障害学総論Ⅱ					高次脳機能障害学					失語症学	失語症学特論
専	助教	田宮 愛	平成19年4月	失語症学	専	助教	田宮 愛	平成19年4月	失語症学	専	助教	田宮 愛	平成19年4月	失語症学特論	
				失語症学特論演習					失語症学特論演習					臨床実習Ⅰ	臨床実習Ⅱ

就任辞退により他の教員で分担して担当

為数と分担

兼担	教授	太田善郎	平成19年4月	内科学 関連職種連携論	兼担	教授	山口雅也	平成19年4月	内科学 関連職種連携論	21年より
					兼担	教授	齊場三十四	平成21年4月	関連職種連携論	
兼担	教授	十日市健助	平成19年4月	文化人類学 英語Ⅰ-2 英語Ⅱ(医学英語)	兼担	教授	十日市健助	平成19年4月	文化人類学 英語Ⅰ-2 英語Ⅱ(医学英語)	19~20年、21年未開講
					兼担	講師	徳江 武	平成21年4月	英語Ⅰ-2 英語Ⅱ(医学英語)	21年より
兼担	教授	杉森 甫	平成19年4月	医学/医療史 健康科学理論 医学概論	兼担	教授	杉森 甫	平成19年4月	医学概論	21年より
					兼任	講師	原田 尚	平成19年4月	医学/医療史	
					兼担	教授	庄司紘史	平成19年4月	健康科学理論	
兼担	教授	杉原 甫	平成19年4月	病理学	兼担	教授	杉原 甫	平成19年4月	病理学	21年より
					兼担	准教授	渡辺恵子	平成20年4月	病理学	
兼担	教授	満留昭久	平成21年4月	小児科学	兼担	教授	満留昭久	平成21年4月	小児科学	21年より
					兼担	教授	濱本邦洋	平成21年4月	小児科学	
兼担	教授	庄司紘史	平成20年4月	臨床神経学 中枢神経機能学	兼担	教授	庄司紘史	平成20年4月	臨床神経学	21年より
					兼担	准教授	後藤純信	平成20年4月	臨床神経学 中枢神経機能学	
兼担	教授	佐々木淳	平成19年4月	国際医療福祉論 老年学	兼担	教授	佐々木淳	平成19年4月	老年学	21年より
					兼任	講師	河口洋行	平成19年4月	国際医療福祉論	
兼担	准教授	柴田 滋	平成19年4月	倫理学 法学 医療関連法規 社会保障政策論 関係法規 社会保障制度論						
兼担	准教授	奈良貴史	平成19年4月	解剖学	兼担	准教授	奈良貴史	平成19年4月	解剖学	21年より
					兼担	講師	瀧川 誠	平成21年4月	解剖学	
兼担	准教授	藤城直二	平成19年4月	生理学 生物学						
兼担	准教授	石井久敬	平成20年4月	精神医学 児童精神医学	兼担	准教授	石井久敬	平成19年4月	児童精神医学	21年より
					兼任	講師	鬼塚俊明	平成20年4月	児童精神医学	
					兼担	准教授	上野雄文	平成21年4月	児童精神医学 精神医学	

兼任	准教授	後藤純信	平成19年4月	脳神経外科学 神経心理学					
兼任	講師	安本誠一	平成19年4月	保健医療統計学 情報処理 情報処理演習 物理学 化学  音声情報処理学	兼任	講師	安本誠一	平成19年4月	保健医療統計学 情報処理 情報処理演習 物理学 化学
					兼任	講師	松浦年男	平成20年4月	音声情報処理学
					兼任	講師	増田正彦	平成21年4月	音声情報処理学
兼任	助手	桐本 光	平成19年4月	健康科学実践	兼任	助手	巖 紅	平成19年4月	健康科学実践
兼任	講師	重松恵子	平成19年4月	文学	兼任	講師	重松恵子	平成19年4月	文学
					兼任	講師	大場建治	平成21年4月	文学
兼任	講師	宮本 均	平成19年4月	哲学					
兼任	講師	津田茂子	平成19年4月	人間学 コミュニケーション概論	兼任	講師	津田茂子	平成19年4月	人間学 コミュニケーション概論
					兼任	講師	上城憲司	平成20年4月	コミュニケーション概論
					兼任	講師	石坂昌子	平成21年4月	人間学
兼任	講師	飯田史也	平成19年4月	教育学	兼任	講師	古賀野卓	平成19年4月	教育学
兼任	講師	藤谷隆之	平成19年4月	死生学概論					
兼任	講師	藤島法人	平成19年4月	社会学	兼任	講師	福村昇平	平成19年4月	社会学
兼任	講師	佐々木拓雄	平成19年4月	国際関係論	兼任	講師	宮本なつき	平成19年4月	国際関係論
					兼任	講師	實 一穂	平成20年4月	国際関係論
兼任	講師	西島衛治	平成19年4月	人間工学 ボランティア論					
兼任	講師	松石達彦	平成19年4月	経済学					
兼任	講師	菊地原洋平	平成19年4月	生命倫理					
兼任	講師	ベンジャミン エドワーズ	平成19年4月	英語Ⅰ-1	兼任	講師	ナタリー サトウ	平成19年4月	英語Ⅰ-1
					兼任	講師	パウロ フェルガス	平成20年4月	英語Ⅰ-1
					兼任	講師	徳江 武	平成21年4月	英語Ⅰ-1

兼任	講師	ロバート コウ	平成20年4月	英語 I-3	兼任	講師	アンガス ベインター	平成20年4月	英語 I-3	
					兼任	講師	パウロ フェルガス	平成20年4月	英語 I-3	
兼任	講師	巖 紅	平成20年4月	中国語						
兼任	講師	伊 美暲	平成20年4月	韓国語	兼任	講師	伊 美暲	平成20年4月	韓国語	
					兼任	講師	李 錦東	平成21年4月	韓国語	
兼任	講師	井上俊孝	平成19年4月	救急医学 公衆衛生学 外科学	兼任	講師	井上俊孝	平成20年4月	救急医学	
					兼任	講師	諸岡健雄	平成19年4月	公衆衛生学	
					兼任	教授	佐々木淳	平成20年4月	公衆衛生学	
					兼任	講師	壬生隆一	平成20年4月	外科学	
兼任	講師	齊場三十四	平成19年4月	ケアマネジメント論 ケースワーク論	兼任	教授	齊場三十四	平成19年4月	ケアマネジメント論 ケースワーク論	21年より教授として採用
兼任	講師	神谷大雄	平成20年4月	薬理学						
兼任	講師	三浦浩子	平成20年4月	栄養学						
兼任	講師	山村容子	平成20年4月	カウンセリング論	兼任	講師	吉住直行	平成20年4月	カウンセリング論	
兼任	講師	井上明生	平成20年4月	リハビリテーション医学 スポーツ医科学	兼任	講師	奥野徹子	平成20年4月	リハビリテーション医学	
					兼任	講師	巖 紅	平成20年4月	スポーツ医科学	
兼任	講師	永田俊明	平成19年4月	臨床心理学概論	兼任	講師	吉住直行	平成20年4月	臨床心理学概論	
兼任	講師	吉住直行	平成19年4月	認知心理学 心理測定法 心理測定法演習 実験計画法 音声学 I 音声学 II	兼任	講師	吉住直行	平成19年4月	心理測定法 心理測定法演習	
					専	教授	南出好史	平成19年4月	認知心理学 実験計画法	
					兼任	講師	今村亜子	平成19年4月	音声学 I 音声学 II	
					兼任	講師	松浦年男	平成19年4月	音声学 I 音声学 II	
					兼任	講師	増田正彦	平成21年4月	音声学 I 音声学 II	
兼任	講師	金子修二	平成19年4月	画像診断学	兼任	教授	宇都宮英綱	平成20年4月	画像診断学	



(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	4	0	1	9	0	4	3	0	1	8	1	
( 2 )	( 2 )	( 0 )	( 1 )	( 6 )	( 0 )	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 1 ]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	橋本紀子	就任辞退：当時在籍していた勤務先の都合による。

#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：橋本紀子の就任辞退に関して、大学としては結果的に担当科目の大幅な組み換えを行わざるを得ず、残念な結果として受け止めている。現在は非常勤講師の吉住直行先生に心理測定法など科目を担当していただき対応できている。後任の教員は引き続き募集しているところである。

学生への周知方法：橋本紀子の就任辞退については、学生に対する周知は行っていない。

- (注) 1 「(1) 担当教員表」は、認可申請書の様式第3号(その1)に準じて作成してください。  
なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。  
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。  
(記入例参照)
- 3 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- 4 退職者は「備考」欄に退職年月、理由を記入してください。
- 5 年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- 6 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。前判定があり審査が不要となる教員についてはその前判定とその授業科目名称をそれぞれ「備考」欄に( )書きで記入してください。(記入例参照)  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」欄に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
- 7 「(2) 教員数」の「認可時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に差し引き数を記入してください。  
(記入例：1名減の場合：△1)
- 8 「(3) 専任教員交代の理由」欄には、認可時の計画からの専任教員交代の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- 9 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時  (18年9月)	<p>1. 専任教員については、計画通り採用すること。</p> <p>2. 医療人育成における実習の重要性にかんがみ、その内容の充実に努めること。</p> <p>3. 臨床実習については、実習施設と密接な連携を図り、円滑に行われるように配慮すること。</p> <p>4. 入学者選抜にあたっては、医療人として必要な能力・適正と明確な目的意識を持った者の選考に努めること。</p>	<p>5 教員組織に記載の通り、橋本紀子の就任辞退があり、1名を計画通りに採用できなかった。</p> <p>今年の11月から臨床実習Ⅰ（基礎実習）が始まる為、各実習施設との連絡を密にし、内容の充実に努めるとともに、円滑な実習が行われるよう配慮している。 また、学生に対し、より多くの実習先の選択を可能にするため、新規の実習先の追加申請を予定している。</p> <p>必ずしも入学者の全員が第一志望ではないが、学部・学科単位の入試の性質上、異分野の希望者はいないことから、医療人としての資質・目的意識に欠ける人物の入学は無いものとする。</p>	<p>22年度には完成年度を迎えるので、言語聴覚士の免許所持者の教員確保に向けて、採用活動を行っている。</p>
設置計画履行状況 調 査 時 (21年6月)		同上	同上

(注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。

2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。

3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<福岡リハビリテーション学部 言語聴覚学科>

### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 委員長1名、リハ学部より委員5名、看護学部より委員2名の、計8名で構成。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年間4～5回の委員会（不定期）を開催。委員である教員は原則全員が参加。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新シラバスの作成について</li> <li>・臨床実習に関するフォーラムの開催について</li> <li>・本校でのFD研修会への参加について</li> </ul> <p>② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新様式シラバスの作成、改訂に向けた検討会</li> <li>・シラバスの作成、利用に関するグループ別ワークショップ</li> <li>・FDフォーラム（臨床実習に関するフォーラム）の開催 ※国際医療福祉学院、柳川リハビリテーション学院との合同開催</li> <li>・本校（栃木）でのFD研修会参加</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部内教員全員参加によるワークショップ</li> <li>・学部内より選出された教員による勉強会（講演会方式）</li> <li>・外部講師を招聘した講演会</li> <li>・実習施設先担当者を招待した講演会</li> <li>・本校（栃木）での研修会への出張参加、事後報告会開催</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 原則として、全教員が参加</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新様式のシラバスを作成、検討会の実施を経て、平成20年度より改訂。</li> </ul>
--



### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙の通り

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成21年12月1日 公表予定

##### b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、学内では役員等、教員及び附属施設の長等各1冊を配布、学外では、文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団、日本私立大学協会等の関係団体、医療・保健・福祉系の国公立大学、前記以外の自己点検評価報告書の寄贈を受けた大学、主な学外実習施設、自己点検・評価委員会外部委員、地元記者クラブに各1冊配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成21年12月を予定）

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成19年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の認証評価を受けた。次回、法令に定められた期間内のいつ受けるかは学内で検討中。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成21年10月1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.iuhw.ac.jp>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成21年10月1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.iuhw.ac.jp>)

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
記入方法は、欄内には(別紙のとおり)とし、A4版1枚程度で作成した別紙を添付してください。  
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」及び「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合は、公表後の取扱いについて記入してください。